

西藏黄金  
佛出現

特克斯河  
の橋梁

此地初めて哈薩克の氈幕あるを見る。沿道南山の麓に古墳多し、口碑に依れば、成吉思汗時代の物なりと。且つ同時代の一城址、臺里木吐タイリムトに有り。又曰ふ寧遠城の對岸、二牛录アルニユールの南一日程なる海努古ハイヌクに準噶爾汗、阿穆爾薩那汗の居城址ありて、其の地中よりは、往々古器物を出し、現に採掘せる一黄金佛は在伊犁の露國總領事之を藏す。其他尙ほ特克斯、空吉斯等の六城址を存すと。聞く準噶爾の盛時シーツァン西藏を遠征するや拉薩府ラサに侵入して、重寶を奪略せりと、故に以上各城址を發掘せば或は稀有の珍品を發見するやも知るべからず。世の考古家佛教家、一遊を試みては如何。當地は其の附近の山中に、金、銀、鉛、鑛多く、氣候は三、四月は雨期、十一月中旬以降一、二月雪期、三月は解雪期、又四、五月は風期とし、其量皆多しと云ふ。南山は其の南方面に松樹及雜木殊に繁茂す。

二日、莫音庫色爾を發してより、前程忽急坂と變じ、一上一下、特克斯河を渡り更に大吉勒噶朗河タカレカランの左岸に設備せる氈幕に入る。行程約六里とす。特克斯河は水量多く、且つ流速極めて急なるに因り、徒渉すべからず。橋は長さ約二十米突其の下流五百米突の處に於て大吉勒噶朗河を合せり。